

# 株式会社リーピー

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"><li>● 業種：情報通信業</li><li>● 事業概要：Webを中心とした地方創生支援(Webプロデュース事業、Webサービス事業)</li><li>● 事業規模：拠点数2拠点、従業員数 24名(内、Webデザイナー16名)</li></ul>
2.削減目標案	<p>&lt;Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt; 目標：1.5度目標に合わせて2050年に実質ゼロに向けて、2030年に2018年比で50.4%削減を目指す。</p> <p>&lt;Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み&gt; 取り組み：弊社が提供するWEBサイトの運営に係る、サーバー電力消費量に伴うCO2排出量をカーボン・オフセットし、お客様とともに環境貢献活動を実施する。</p>

# 株式会社リーピー

項目	内容									
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"><li>● Scope 1・2・3の排出量の状況</li></ul> <table border="1"><caption>GHG Emissions by Scope</caption><thead><tr><th>Scope</th><th>Percentage</th></tr></thead><tbody><tr><td>Scope 1</td><td>5%</td></tr><tr><td>Scope 2</td><td>15%</td></tr><tr><td>Scope 3</td><td>80%</td></tr></tbody></table>	Scope	Percentage	Scope 1	5%	Scope 2	15%	Scope 3	80%	<ul style="list-style-type: none"><li>● SCOPE1 : 3.47 [tCO2]</li></ul>
		Scope	Percentage							
		Scope 1	5%							
Scope 2	15%									
Scope 3	80%									
<ul style="list-style-type: none"><li>● SCOPE2 : 10.3 [tCO2]</li></ul>										
<ul style="list-style-type: none"><li>● SCOPE3 : 53.9 [tCO2] 目標の対象セクター : カテゴリ1</li></ul>										

# 株式会社リーピー

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"><li>● WEB業界においても環境対応が求められている潮流の中、対策を講じているか否かで、お客様からの評価に影響が出る恐れがある。</li><li>● WEB業界においてサーバーに係る電力消費量は大きい為、環境対応をしていくことにより、多くの利用ユーザーに係る環境負荷の低減に繋がると考える。</li><li>● 着実な環境貢献策を講じていくことにより、企業価値や優秀な人材への獲得にも繋がっていくと予想される。</li></ul>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"><li>● WEB業界では、SBT水準の削減目標を設定している企業はまだ他に無いため、業界に波及させられるように取り組んでいきたい。</li><li>● 弊社がサービスを提供することでカーボン・オフセットを行い、お客様とともにCO2削減に取り組んでいきたい。</li><li>● サステナビリティを追求する新たな事業パートナーとの繋がりが生まれていくことを期待したい。</li></ul>

# 株式会社リーピー

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 社長直下で本事業を推進。本件の担当者を選任するとともに、社長と全社員で本コンセプトの共有を行い、日々の事業への落とし込みを検討した。</li><li>● 以前から環境貢献への思いはあったものの、具体策においては議論が停滞していたが、本件があったため具体的な目標設定と対策の議論をすることが出来た。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● WEB業界の一員として、目標達成を目指して具体的な施策を講じていく。（業界の成功事例になっていきたい）</li><li>● またサービスへの付加価値として、カーボン・オフセットにも取り組む。弊社が提供するWEBサイトの運営に係る、サーバー電力消費量に伴うCO2排出量（Scope3 カテゴリ1）をカーボン・オフセットし、お客様とともに環境貢献活動を実施する。</li></ul>